

情報処理と分析力 で地域社会を支える IT 人材を育成します



プログラミングやネットワークなど、時代が求めるコンピューターの知識・技術を身につけ、地域の行政機関や企業・団体と連携したプロジェクトに参加する実践的な授業を展開。市場調査、データ分析、企画立案からデジタルコンテンツ制作まで、即戦力となる知識や技術を習得し、未来を自ら切り開く力を兼ね備えた「課題発見・解決型の人材」を育てます。

■ メディアデザイン学科の学びの特徴

Point 1

コンピューターの知識・技術からデジタル制作技術までを習得

プログラミングやネットワークなど、時代が求めるコンピューターの知識・技術を習得。さらに、映像やグラフィックス、Webデザインなどコンテンツ制作に必要なスキルを習得します。

Point 2

メディアテクノロジーを活用し、生活の質の向上をめざす

目的をもって立案・設計すること＝「メディアデザイン」と捉え、メディアテクノロジーを活用しながら、現代社会の様々な問題解決のための企画・立案・実践できる能力をしっかりと身につけます。

Point 3

調査・分析・企画からプレゼンまでトータルで習得できる多彩な演習

マーケティング・分析・企画・プレゼンテーション能力は、企業人としてなくてはならないもの。経験豊かな指導陣のもと、実践を通しプレゼンテーションの企画構成や発表のテクニックを学びます。

資格試験に合格するための充実したサポート 入学後から勉強を始めて合格できました!

私は普通科の高校を卒業し、大学に入ってからIT関係の勉強を始めました。先生にすすめられてIT関係の資格取得を目指すことにしました。メディアデザイン学科は資格取得につながる講義が充実しており、分からないところは先生に質問すると優しく丁寧に教えてくれました。

努力した結果、大学1年生の10月に情報処理の国家試験であるITパスポート、翌年の2月に基本情報技術者、2年生の5月にMOS (Microsoft Office Specialist) のExcelとAccessに合格することができました。

ITパスポート試験やMOS試験は受験日を自分で決めることができますのですが、私は勉強に取り掛かる前に受験日を決めていました。期限を先に決めておくことで、目標を明確にすると同時に勉強の進行状況も分かるようになるので、効果的に勉強に取り組むことができました。

また資格を取得することにより様々なことにチャレンジしようという積極性や自信が身についたと感じます。大学に学生の進路を尋ねるといくつもの道を教えてくれますが、そこへ行くのは自分自身です。私は自ら積極的に努力・行動する人とならない人は大学4年間で大きな差が出ると考えているので、限られた時間を大切に様々なことにチャレンジしていこうと思います。



就職してからも強い! バランスのとれた学びが支える社会人基礎力

メディアデザイン学科の卒業生の進路は、インターネット関連会社でWebデザイナー、情報通信系の企業で営業やシステムエンジニア、出版や広告、マーケティング調査など自らの興味・関心に応じて様々な業種・職種に進むことが特徴です。

メディアデザイン学科では情報システムやデジタルコンテンツの制作、マーケティング調査など、5つの領域をバランスよく学ぶことから、幅広い業務を担当することができるため、卒業生の就職先での評価が高いことも特徴です。

メディアデザイン学科卒業生 近年の主な就職先・職種

メディアドゥテック徳島 (電子書籍編集) メディコム (雑誌企画・編集)
ケーブルテレビあなん (番組制作・広告製作) コロプラ (プログラマー)
エレバ高知 (Webデザイナー) 水の都記念病院 (システム管理)
プラトイーズ (システムエンジニア・通信技術者)
高橋ふとん店 (Webデザイナー) データプロ (Webデザイナー)
日和崎グループ情報技術センター (システムエンジニア)
ときわ (企画・マーケティング部) 花由 (メールマガジン編集)
徳島市農業協同組合 (総合職) など (順不同)

取得可能な資格 ●Webデザイナー実務士 ●プレゼンテーション実務士 ●社会調査士
●上級情報処理士(N) ●高等学校教諭一種免許状(情報・家庭) ▲MOS学内受験可

NEWS

平成28年度より、高校教員免許の「情報」と「家庭」、両方が取得可能に!
「情報」だけでは難しかった教員採用試験への可能性が拡がりました。

“社会”が学びのフィールドに！ メディアデザイン学科の学生が活躍中

効果的なコミュニケーション手法やコンテンツ制作技術を学び、メディアを駆使した実践的なカリキュラム構成に！
個性豊かな教授陣によるユニークな授業やNPO法人の活動を通じ、企画や表現を社会に向けて発信していきます。

実体験を通じて学ぶラジオ局の立ち上げと運用

現在3年生の授業「専門ゼミナール」では、B-FM791 (FMびざん) および徳島文理大学放送部と連携し、ラジオ局の立ち上げと運用を、実践を通じて学ぶ活動を進めています。2年生「メディア制作論」で学んだオーディオ機器の扱いを活かし、徳島県総合防災訓練での臨時災害放送局運用訓練への参加や、徳島文理大学徳島キャンパス「山城祭」での微弱FM放送・YouTube Live同時放送に取り組んでいます。

番組企画、機器運用、著作権関連の交渉、取材を通じた記事の制作や現場からのレポートなど、放送局でも必要となる様々な経験を積んでいます。



地域移行支援事業の啓発ビデオ作成

徳島県内の精神障がいのある方の入院日数は全国平均と比較して長く、全国ワースト3位(厚生労働省H27調査)という状況です。

そこで、徳島県精神保健福祉士協会と協同で、地域移行支援事業の啓発ビデオを作成しました。精神科病院に長期入院されていた方が、地域移行支援事業を活用して入院準備から退院後まで様々な支援を受けながら、地域でどのような生活をされているのかを紹介する内容となっています。

今後は徳島県精神保健福祉士協会や徳島保健所で、現在長期入院中の方、支援担当の方、一般の方に向けて理解促進のために本ビデオが活用されます。



平成30年度 県南地域づくりキャンパス事業

平成28年から牟岐町西又地区において炭窯を復活させ備長炭作りを通して、地域の交流人口の増加や活性化を図る取り組みを始めています。このような取り組みの中、県南地域づくりキャンパス事業への協力依頼が昨年度あり、本年度も引き続き参加しております。昨年度は、炭や木酢液の新しい利用方法を考え、形にして3月に牟岐町で成果報告会を開きました。本年度は、「山の暮らし(林業や炭焼き)の知恵や残したい文化を知ってもらい、興味をもってもらうことのきっかけづくりや技術や知恵を次の世代に承継していきたい。」という思いのもと、ドキュメンタリー映像を作成することになり6月22日(金)にゼミ生と現地へ撮影に行きました。



徳島県老人クラブ連合会PRビデオ作成

徳島県老人クラブ連合会は全国に先駆け、昭和32年9月25日に結成され、60年という輝かしい歴史を築いてきました。そこで、さらなる発展のためにPRビデオを作成してほしいという依頼がメディアデザイン学科にありました。

「色々な活動を紹介しながら老人クラブの楽しさを表現できるような作品を作ろう!」のコンセプトのもと、2月から徳島県内各地で行われている活動の撮影を行い、ドラマ編では老人クラブの人たちに出演してもらいました。

また、飯泉嘉門徳島県知事にビデオ出演を依頼したところ快くお引き受けいただき、「老人クラブヘカモン!」のラストシーンを県庁で撮影し、動画が完成しました。



奨学金・特待生制度が充実しました!!

- **徳島文理大学特待生**
(学力優秀かつ経済的要件を満たす入学者 毎年100名 大学4年間で100万円・短大2年間で50万円給付)
- **スポーツ特待生** ● **就学支援奨学金制度**
- **兄弟姉妹在籍入学サポート**
(入学時に兄弟姉妹が在籍している入学者(同時入学可) 10万円給付)
- **アカンサス会(同窓会)奨学金**
(本学卒業生でアカンサス会(本学同窓会)会員の子 入学後に10万円給付)

その他の奨学金や、各奨学金の選考方法、併用の可否等につきましては、奨学金パンフレットやホームページで案内中です。



徳島文理大学

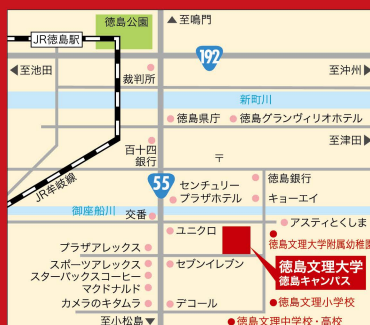
入試広報部

☎0120-602455 ☎770-8514 徳島市山城町西浜浜示180

URL ● <http://www.bunri-u.ac.jp/>
E-mail ● gogo@tokushima.bunri-u.ac.jp



徳島文理大学大学院
徳島文理大学 徳島文理大学短期大学部 徳島文理高等学校
徳島文理中学校 徳島文理小学校 徳島文理大学附属幼稚園



ACCESS

JR徳島駅

- 市営バス(南部循環)「左回り」
または「山城町」(ふれあい健康館)行き
約10分「文理大学前」下車(210円)
- スクールバス 約10分

徳島文理大学 徳島キャンパス

- 車約15分
- 車約25分

徳島IC

鳴門IC